

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2374700223
事業所名	グループホーム岩倉一期一会荘

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 新型コロナウイルスの感染状況がやや下火となり、地域の祭りが再開された。子どもたちの獅子舞がホームの玄関先までやってきて、利用者は久しぶりに祭りの雰囲気を味わった。 地域への貢献度が高い認知症サポーター養成講座の開催も準備段階に入っている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 過去1年間の運営推進会議は6回すべてが書面開催となった。ホームの運営状況を報告する会議次第を作成し、利用者の様子が掲載されたホーム便りとともに会議メンバーに送付している。 「意見聴取用紙」と返信用の封筒を同封しており、市・長寿介護課や地域包括支援センター職員、家族代表からねぎらいの言葉が寄せられている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 市を訪問する機会は少なくなったが、担当者とは良好な関係を継続している。市内の地域密着型事業所(4グループホーム、2小規模多機能型事業所、3小規模デイサービス)の連絡会議が2ヶ月ごとに開催されていたが、現在は中断している。 会議メンバーからは相談の電話が入り、情報交換を行っている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族との良好な関係を継続しており、運営推進会議でも家族代表から感謝やねぎらいの言葉が届く。 家族面会は「窓越し面会」に制限しているが、感染状況を見ながら今月より緩和の方向で検討している。 玄関先ではあるが、久しぶりに対面での面会が実現する。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ —
総合評価		○

【備考欄】

過去1年間の運営推進会議は6回すべてが書面開催となった。
------------------------------

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○	◎								